二人三脚

つげ 忠男

会社の寮と
言ってもこれが
又ひどいんだよ
いらなくなった倉庫
の一隅を改造しただけ
のもので………

住んでいるのはたった二人
なんだなあ

その二人が同じ部屋に
(…と言ってもひとつしか
ないのだが)
寝起きしてる訳だ………

ま、寮らしき
それは会社のすぐ
裏にあってね
………
とにかく面白いんだ
二人共……

オウス……

ああ……
おそかったね

今日は残業になっちゃってね
あんたらは珍しく早かったみたい？
そう……めし作っといた

……いいのに
めしは俺がやるよ

でもよ、いつもやって貰うからよ…たまにはと思って

スキヤキにした

ふっ
ふっ

………

ウ
ゴホン

………

なんだ…………
まずいか
？

いや
そうじゃないんだ
なんだか胃が変で
あ、油ものがたべれ
ないんだよ

そうか、
知らなかった
からよ

悪かっ
たなあ
……
あち、
あちち、
ズルル

カチャッ
あ、いいよ俺
俺のと一緒に
洗うから
自分のたべ
ものは自分で
洗うことにして
あるんだから

ザ
ザ

キュッ
キュッ

……ふっ
シー
チッ
チッ

ゴボ
ゴボ

ゴクン
ブルッ……

面白い記事ある？
……別に、

ふーん……ふんふん
ス
ス

………
オ、サンキュー

あ、どっかへ行く

風呂……
会社の？

……なんだよ……

あーもう……

トッ トッ トッ

ほい
出庫伝票
だよ
大分注文来
たぜ

あ〜れえ
見ろよ
こんなに…
製品出庫係

製品番号
間違えなく
出してよ

読むよ
……A 412
A 419 B 370
D 405

なあ
俺よこんな
会社 辞め
ちゃおうかな
カイン

なんでよ
………
ギュッ

どうしてってお前考えてみろよ
毎日こんな仕事してたって技術なんか身に付く訳じゃねえし給料は安いしよ

俺、こないだ中学ン時のダチに会ったんだけどよそいつゲップで車買ってメリヤス問屋の配達やってんだってよ……

俺とおない齢だけどよ、手取りで5・6万貰ってるんだって……やぁんなっちゃった俺
お前はって聞かれたけど梱包やってるなんて言えねえしつらかったなあ
さあこれで終り……運送屋へ電話してもらうか

だけどよこう忙しくなって来たんじゃもう一人位居なきゃなあ

誰か他所の職場からまわしてくれりゃいいのにさ

お前と一緒に居るあいつなんか力かありそうだね
…………

今、彼準備係か……
でもよあいつ、なんとなくモタッとしてるところがあんな

オイ二人共そんなとこでさぼってないで一緒に来いよ

ほらあんたと住んでる彼と磯谷のダンナがやってるんだってさ

本日のメインエベント60分一本勝負……行くぞ俺は！
あいつら二日に一度はやるらしいよ………オッ待ってろよ

磯谷のダンナ少しパーだからな

どっちもどっちだぜ……与太郎同志のケンカは面白えよ

そおっとそおっと何気ない顔して行こうぜ
原因は何んなの？
それがねてんで下らねえんだ

なに！この車は僕が使おうと思って置いといたんだよ

だけど現に今は使ってねえじゃねえかよ……

そんでもこれは、この手押車はね
僕のそばにあるんだから、お前だって一回位、断ればいいじゃないか

なんだよ……
何がお前だよ

しっ静かにしてようぜ

ここの係長は知ってんの？
面白いからほっとけってよ……

………

そんなら
お前だって
僕のことを
いつもバカ
たって言う
のはやめて
もらいたいね
何言って
やんでえ
ヘッ、クル
〳〵パー相手
にしたって
仕様がねえや

お前こそ
田舎っぺじゃ
ねえか

何が田舎
っぺだよ
このお
ドンッ

ガッ

チキショッ
殺してやる
………

さてそろ〳〵
止めようか
いいよ
もう少し見て
ようよ
なあ……

オイッ
二人共
課長が来た
ぞ！
オッ
な、な
んだよ
……
……
ウソだよ
今のは……
だけどお前でも
やっぱり課長が
恐いのか？
エエ
おっかな
いです
へへへ
僕は
他に働く所
がないから……
首になったら
困るんです
ここにいれば
使ってもらえるし
安全ですからね
ハハハ

シュ
ダダダダダダ

今日は
笑っちゃったよなあ
あいつらよ
ダダダダ
シュー
シュー
磯谷の奴バカだけど
あれで金には相当
ガメツイんだよな

残業がない時は
便所掃除やらして
くれって課長に頼ん
だんだってよ

あいつ
長男なんだって
よ………
オオ
入ら
ないの
か？
ウン後で
すいたら入るよ

あ悪いけど
蒸気の出が
悪くてぬるいんだ
ボイラー室
へ行って、バルブひねっ
てくれる？

OK

火気厳禁

あ
関根君
晩ごはん
どうする？

そうな、
今日は
俺、表で
食べるワ

そうだね
面倒だから
そうしよう

それじゃ
……
オウ

ズボッ

グググ

ザザッ
ッ

ザ
キュッ

ザ

ボイラー室
あんまり蒸気ねえな

なんとかわくだろ

今晩わ
オオ

あれ宿直はカマさんに片瀬さんか
やんなっちゃうよ……なんだい？

風呂わくまでここにいようと思って
あ、丁度いい花札やろう

それっ菊、おきろ
ピタン

なんでイ青タンか？

ちょっと底なめさしてもらうよ
坊主憎けりゃなんとやらあ…か

ところでよ今日、あいつら又やったんだって？

ああ派手でしたよ

なんであの二人はよるとさわるとケンカすんのかね？

それはだ………

認め合ってんだよ……
あいつらどっちか言うと他の連中にあんまり相手にされないだろう……

ま、早い話がバカ呼ばわりされてる訳だ

あれえ
出たあいとしのお菊ちゃん……アオタンいただき
又か、オイ馬鹿付きじゃねえか

だからよそのうっぷん晴らしにぶつかる相手はお互いに奴しかないって事をなんとなく理解してるんだよ

そうさ俺達にあたってきたらぶっとばしてやらあ……

奴と一緒に住んでてどうだい？

いや
まずいです
よ
どうしても
風呂へ入んなきゃ
……今日忙しか
ったから

オーイ
一日んち位
入んなくたって
死にゃしねえよ

ダダダダ
シュ

ウン　ぬるいけど
入ってるうちに
わくだろ

ザッ
あ
まだ
ある
ふう……
ザブン
ぬるいなあ
……これじゃ当分
出られないや
ダダダダ
シュ
シュ
やあ
ガタン
あれ？
カマさん
？

ああ
いたの………
今夜、めしたべて
それから一っぱい
飲んじゃってさ………

ダダダダダ

シャー
ああ……
すこうし酔っ
たみたいだ
ね………
ヒック
顔、
青いぜ

バシャバシャ

ザブン
気持いい
……
ははは

……
……
……
ダダダダダダダ
シュー
♪

ブルル
ザブザブ

熱くなってきたね止めようか

いいよ うんと熱くしないと気持悪い…
ダダ
シュウ

熱いよ………
ザバッ

グ……
ゲプ

ゲ
ケ
ダ

ビシャ

ズボッ
カ
シュー
シュー
ゴボゴボ
お？
お前は……
汚ないんだ
汚ないんだ
汚ないんだ
………と、まあ
二人はそう言う
ことなんだがね………
シュー
シュー

完 44. 11. 3.

ガロ 2月号予告

つげ義春が、一年半の沈黙を破って久々に描き下す長篇力作「N浦にて」(仮題)掲載!!

つげ義春「N浦にて」より

<2月号執筆者>

カムイ伝㊽ 白土三平
アア東京の未来 水木しげる
林静一
勝又進
寺島町奇譚⑬ 滝田ゆう
つげ義春
池上遼一
つげ忠男
佐々木マキ

東京都千代田区神保町1の55 青林堂

ガロ臨時増刊号
1月中旬発売!!

林 静 一 特 集

"二度と逢うまい逢わないと
心に誓うはまぼろしか
こんなつらい渡世など
だれが好んで生まりょうか"

林 静一が謳いあげる
女の性のせつなさ、妖しさ

<収録作品> 吾が母は　巨大な魚　赤とんぼ　山姥子守唄　花ちる町　花の紋章①②③　花さく港　まっかっかロック　赤地点　赤い鳥小鳥（書き下し一篇）

<評論・随筆> 石子順造　上野昂志　左右田本多　他

■B5判・260頁・200円(予価)　(品切れにならないうちに書店にご注文下さい)

東京都千代田区神田神保町1の55　青林堂　TEL (291) 9556

カット・石黒 清

どうでもいいこと

多田洋子（大阪・19歳）

よく考えたけど、どうでもいいんだ！

白土三平の人気がおちようがあがろうか、彼があたしの感覚にあってあたしを喜ばしてくれるならあたしにとって彼は抜群であり感謝の念をいだくに値する人間となるわけだ。もしも彼がちっともカチッとこなくて古めかしいヤロウだと思う人がいるならその人にとって彼はバカヤロウのおもしろみのない人間となるわけだ。

たから要するに、読者っていうのは、そうとうクールにできてるね、これが個人主義のほんのかけらみたいなもんよ。マンガの作品のよしわるしは、みんな読者の心の中で決まるものよ、佐々木マキが浅薄だと思う人間がいてもいいわけよ。自由じゃない、そんなの。その人にとっちゃ彼の存在なんかじゃまになるわけ、だからこれから先、「ガロ」を読んでいくうちにあたしの気持ちはいつも変わっていくわ。

ある時は三平様とひざまついたりある時は「ガロ」をなげつけてけとばしたりさ。そうどうでもいいこと、他人のことなんか。感謝します、感謝します、あたしを喜ばせてくれたあなたがただけに！

ブルーなフィーリング

白鳥勝士（東京・18歳）

ぼくはジャズ狂です。自分でもドラムをやってます。林静一さんの絵には独特のブルースが感じられます。ぼくがドラムに執着するのは、メロディを演奏できない、つまり、メロディよりもリズムが好きだからです。モンロー、裕次郎、小百合、星のマークのアメリカ……。

正直にいって、彼の絵は、一枚一枚は完全には理解できない。でも、全体の流れからある種のブルー（憂うつ）なフィーリングが感じとれます。ぼくは、会話やナレーションの多くて、押しつけがましいのは嫌いです

林静一さんの絵は、その点いい感じで、彼の作品を見るときは、すぐれたジャズメンのレコードを聞いているようで、とても楽しい。次の作品に期待してます。

二〇〇円の幸福

西八條敬洪（京都・23歳）

十七日分のアルバイト代が封筒に眠っている。薄汚れた折目のない木綿のズボンのポケットに、ハンケチと一緒になって入っている。少しズボンのポケットがふくれているように思える。

ポケットからまっさらの封筒を抜き出して、封を切る瞬間、その中から千円だけを手にして、勝又進あるかと、店員に向っていう。ああ、ちょっとまってくださいねといって、婦人雑誌が山となっているところから、店員は「かっぱ郎」の表紙をとりだしてくれた。

「ガロ」を小脇にかかえて、駅に向う。硬い駅のベンチに腰をかけて、むさぼるようにして読む。何台もの電車が、風を残して去っていく、必死になって読むマンガ青年。

次に青年は、純喫茶のジュークボックスから流れてくるフォークソングを耳にしながら、ソファにもたれてむさぼるようにして読む。冷えたコーヒーをすすりながら、アベックの軽蔑した視線を気にもしないで、ゲラゲラと笑っているひとりのマンガ狂の青年。

さみしかりやのわたしに、十七日間の労働の辛さを忘れさせてくれた二〇〇円のマンガ本。そしてはかない幸福であるかもしれないが生きていることを知らしめてくれた二〇〇円の本。わたしは勝又進によって、ゲラゲラと笑えた、笑うことを恐れていた人間が、おもいきり笑えた。

「庄助あたりで」私考

笠木和男（熊本・20歳）

鈴木氏のこの作品は、わたしに堀辰雄の「燃ゆる頬」を連想させる。「私（主人公）」と三枝との関係が類似しているからであった。しかし、その関係が弱いのとテーマの違いを考えると、それは手前勝手な連想であったことに気付く。

〝人形に恋する男を描く〟このモチーフは、古くさい。例えば、江戸川乱歩の「押絵と旅する男」「人でなしの恋」等に見られる。わたしは、失望した。が、その失望をより軽いものにとめたのは、その人形か文字通りの人形でなかったことだ。街でよく眼にする女優等をモデルとした等身大の宣伝用の写真であるというユーモアであった。

古いモチーフを今様のユーモアに仕立てたのは、鈴木氏の個性であろう。しかし、このユーモアは、わたしたちを微笑ませる一方、内面に喰入って、意識の深淵をえぐるのである。感受性の問題だか、こういうこともあり得るという認識が

私（主人公）が酒でも飲もうと思いついたのも、軽い失望と暗たんたる戦

僕を[illegible]んだからであろう。最後の文句はきいていいた。

十一月号の『カムイ伝』にふれて

佐藤速夫（東京・23歳）

十一月号「ガロ」における「カムイ伝」では、あきらかに赤目を一方的な作者の独断で片付けてしまっている。もし赤目の忍者としての本能から言えば、否、彼の性格からいえば、絶対にあのようなしりごみするような出方をとらなかったはずだ。あの場合、赤目はあの忍群と闘ったはずだ、それによって彼が死ぬ確率が高いと彼自身計算しても

作者にいわせるとカムイ伝は失敗らしい。その失敗という真の意味が、我我にそして作者自身に非常に大きな問題提起しているのではないだろうか。もし、作者自身が自分の考え方に忠実に作品を組んでいったのなら、その作品は失敗ではない。作者が自分の考え方以外のものに左右されていたのなら、あきらかに、そこに浮びあがってくるものは失敗作だろう。

倉橋由美子の『暗い旅』のあとがきに、「なにをかくかとということよりも、いかにかくかということなのです。前者は後者に吸収されます」とかかれている

僕かカムイ伝に魅力を感じるのは白土三平氏の劇画のうまさ、内容の充実さだけによるのではない。作者が「いかに書くか」ということにポイントをおいていたからである。

もし、「なにを書くか」に作者がきりかえたのなら、このカムイ伝はその時点から死んでしまうだろう。そして、十一月がその第一歩のようだ。

我々はカムイ伝を異常なまでの興味をもって読み続けてきた。それは、読むことの楽しみ、あの推理小説におけるそれとは全然意味が違うことは作者にもわかることだろう。この作品が我々の考え方に、固定的なものの言い方でいえば思想性に大きな影響を与えてきたことを、絶対にみのがせない

我々がものを読むということは、それ自身が我々の日常性を打破させ、行動を大きく左右させることであって、本を閉じた時に、その世界が同時に閉じることでは決っしてない。

作者がこの作品を中絶させることは本人の自由だが、作者自身が書くという行為を、何を書くかではなく、いかに書くかということをもう一度考え直してみた場合、この作品のいきづまるところまで、筆が動かなくなるところまで書く、これが一番大切なことではないだろうか。終りよければ全てよしというのはナンセンスである。

この作品が一歩も先にすすめなくなった時そのあとは我々が行動で示す

あの「万延元年のフットボール」が羽田闘争となんの関係ももちえないとは誰一人思わないだろう。ゴダールの「中国女」がパリ五月革命を。いずれもこの二つの作品は我々の行動に起爆剤とはいわないまでも、そういった関係をもっていたことは確かだ。少なくとも我々意識あるものの間で、当然このカムイ伝が七〇年安保闘争となんの関係もないとみる者は誰一人いないと思う。

白土三平氏はカムイ伝をいきづまるところまで書くべきだ。その行き詰るというところに理論のもつ本当の意味がでてくるのだ。そして、そのあとは我々が行う。

僕はその意味で、あの十一月号は、断じて取り消すべきだと思う。

佐々木マキと永島慎二

大塚義文（神戸）

先日のNHKの「現代の映像」の中で、佐々木マキは「漫画とは、らくがきのようなものだ」と言っていた。ごく単純に考えると、彼は漫画で自分の世界を感覚的に表わしているだけではないのかという気がする。彼の世界に興味を持つのはわかるが、彼の漫画を見て彼といっしょに考えるとなるとぼくは、ためらってしまう。彼の漫画は考える漫画だろうか？　ぼくは、読者の好奇心を引く漫画だと思う。彼の世界を独特の絵で見せることにより、ぼくは、水木しげるの妖怪マンガを見るような興味にかられる。

永島慎二と彼を比べるのはどうかと思うが、ぼくにとって、考えるマンガは永島慎二のマンガであることが多い。それは、永島慎二がかたる感覚で書かれているからだろう。今も、ぼくの頭に残っている、「ク・ク・レ・ク・ク・パロマ」でギター弾き[illegible]ジュが言う文句「音楽はなぐさめにはなるが、それだけで救いにはなりはしない」は、なにかにつけて、ふと思い出す

反戦など考えたこともないのに、反戦歌を歌いたいために「戦争はつらい――」と歌う若者。彼らが「イムジン河」を歌うためには、沖縄は今のままでなくてはならない。音楽を、なぐさめとする彼らの歌は、沖縄の人にとって決して救いにはならない。佐々木マキ氏のファンの方、こんなことを書いてゴメン。

「アサヒ・グラフ」につげ義春が出ていた。彼と同じように、ぼくも昔ながらの湯治場というものに、ひかれる。今は浪人中だが、来年は、人の知らない湯治場を回ってみようと思っています。湯治場、その他の温泉の詳しい紹介は、「旅」の11月号に出ている。佐々木マキ氏のファンの方、本当にゴメン。

★読者サロン投稿規定―原則として四〇〇字原稿用紙二枚以内。住所、氏名、年齢を明記して下さい。採用の方には「ガロ」3ケ月分を贈呈致します。あて先は、「ガロ」編集部読者サロン係。